

## 地域エネルギー供給実績報告書

供給年度

2023年度

## 1 地域エネルギー供給事業者の氏名及び住所

地域 エネ ルギ ー 供 給 事 業 者	氏名（法人にあつては名称及び代表者の氏名）	赤坂熱供給株式会社 代表取締役社長 高木 盛正
	住所（法人にあつては主たる事務所の所在地）	東京都港区赤坂五丁目4-8 クレールタイヨウ4F

## 2 エネルギー供給を行った区域

エネルギー供給を行った区域の名称	赤坂五丁目地域冷暖房区域
エネルギー供給を行った区域の所在地	港区赤坂五丁目の一部
エネルギー供給を行った区域の面積	108000 m <sup>2</sup>

## 3 エネルギー供給を行った区域における建築物等の状況

エネルギー供給対象建築物	建築物の棟数	5 棟	総延べ面積	428990.79 m <sup>2</sup>		
	主な用途	<input checked="" type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 学校等	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所等 <input checked="" type="checkbox"/> 飲食店等	<input type="checkbox"/> ホテル等 <input checked="" type="checkbox"/> 集会所等	<input type="checkbox"/> 病院等 <input type="checkbox"/> 工場等	<input type="checkbox"/> 百貨店等 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	供給対象の住戸数	223 戸				
熱需要実績	最大冷熱需要	89200 MJ/h				
	最大温熱需要	57960 MJ/h				
	年間供給熱量（冷水）	173323.1 GJ				
	年間供給熱量（温水）	0 GJ				
電力需要実績	年間供給熱量（蒸気）	88822.23 GJ				
	最大電力需要	2920 kW				
	年間電力供給量	4590.46 MWh				
エネルギーの供給期間	2023年04月01日から2024年03月31日まで					

## 4 地域エネルギー供給実績報告書の公表の担当部署及び方法

担当部署	総務部	電話番号	0335057567	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ	<input type="checkbox"/> 窓口で閲覧	<input type="checkbox"/> 環境報告書へ掲載	<input type="checkbox"/> その他

5 供給したエネルギーの種類及び量並びに熱媒体の種類			
供給したエネルギーの種類及び量並びに熱媒体の種類（供給能力）	冷 水		138912 MJ/h
	温 水		0 MJ/h
	蒸 気		124024 MJ/h
	電 気		4000 kW
熱媒体の温度（℃）	冷 水（送り温度：	6	（返り温度： 14）
	温 水（送り温度：	0	（返り温度： 0）
熱媒体の圧力（Mpa）	冷 水（		0.83）
	温 水（		0）
	蒸 気（		0.78）
その他の熱供給の条件			
6 利用した脱炭素エネルギーの概要			
脱炭素エネルギーの設備導入に関する取組の概要（供給区域内外問わず）	太陽光のパネルの設置や、アンモニアや水素関連設備の導入等、熱源機としての水素ボイラ等の技術情報について広くヒアリングを行い、実現可能性について検討している。		
小売事業者を介して、脱炭素エネルギーを特定開発区域内に供給する取組の概要	オフサイトに設置した太陽光パネル等から得られた電力をプラント内で使用することや、オフサイトに設置した水素製造設備で得られた水素を運搬して使用すること等についての実現可能性検討を始めた。		
特定開発事業の用に供する脱炭素エネルギー由来の環境価値を調達する取組の概要	直接的な手段として、原料に非化石エネルギーを使用することや、各種クレジット等を活用することにより環境価値を創出するようなことの検討を始めた。		
利用した脱炭素エネルギーの種類、期間及び実績	期間	年 月 日から	年 月 日まで
	( )	( )	年間利用量 0 GJ
	( )	( )	年間利用量 0 GJ
	( )	( )	年間利用量 0 GJ
	( )	( )	年間利用量 0 GJ
	( )	( )	年間利用量 0 GJ
	( )	( )	年間利用量 0 GJ
	( )	( )	年間利用量 0 GJ
	( )	( )	年間利用量 0 GJ
7 供給したエネルギーの効率の値及び評価			
熱のエネルギー効率・評価	エネルギー効率	1.02	評価 AA
8 窒素酸化物の濃度			
31 ppm（加重平均 標準酸素濃度0%換算）			

9 エネルギーを供給した設備等の概要	
エネルギー供給開始時期	1994年 05月
熱供給プラントの名称	第一プラント（1994年5月稼働）、第二プラント（2008年2月稼働）
使用したエネルギーの種類・期間及び量	期間 2023年04月01日から2024年03月31日まで
	電気 6229364 kWh
	都市ガス 237307 GJ
	他人が所有する熱電併給設備の排熱 31982 GJ その他 )
主要熱源機器等の概要	第1プラント 炉筒煙管蒸気ボイラー 毎時6トン 3台 同上 毎時12トン 2台 電動ターボ冷凍機 600RT 1台 二重効用型吸収式冷凍機 1200RT 2台 排熱投入型蒸気吸収冷凍機 800RT 1台 第2プラント 自然循環式水管ボイラー (ガスタービンCGS排熱ボイラー) 毎時6トン 2台 二重効用型吸収式冷凍機 1200RT 5台 電動ターボ冷凍機 1200RT 1台
熱供給プラントの設備更新等により変更した内容	なし
10 他の地域エネルギー供給事業者との供給した熱の相互利用の内容	
なし	
11 エネルギーの需給調整に資する取組内容	
<p>国による電力需要調整の要請があった際にテナントビル等の熱供給先への協力要請ができるように、関連契約書類の見直しをはかっている。設備管理者と今後起こり得る場面を想定した話し合いを行っている。自社コージェネレーションの稼働に関しても、自社利用範囲の拡大などデマンドレスポンスへの貢献度を高める改造が可能かどうかについて検討を始めている。</p>	
12 災害に対する強じん性に関する取組内容	
<p>メインプラントとサブプラント間の熱融通を行うことで、日常的な省エネ性能を確保するとともに、大規模災害発生時の設備損壊等による供給支障を回避するため、自社コージェネレーションや熱源機の更新に際して、災害発生時のテナントビルへの電気・熱供給の継続性強化のための具体的な検討を始めている。</p>	